

次世代計画年次別事業カード(H18年度)

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度	子育て支援課
事業名	子育てガイドブックの充実	
計画体系	1-(1)- 子育てに関する総合相談支援体制の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子育てガイドブックを、より利便性のある内容として作成します。	
子育てガイドブック	市の子育てに関する施策全般のほか、子どもの関する様々な機関や問い合わせ先、各種制度の手続きなど、市が発行している子育て総合情報誌。	
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	これまでは行政の所管のみで編集にあっていたが、今年度から子育て支援団体や育児サークルなどで構成する子育てネット会議で編集を行っており、市民により身近で使いやすいガイドブックを目指している。	
課題はあるのか？ 【所管課の課題認識】	製作費(印刷製本費)に現在100万円かかっており、経費の都合上毎年ではなく隔年発行となっている。しかし、情報の変化速度から考えて、毎年発行が理想であり、情報誌である以上、古くなったり正確でなくなったりした情報では価値がなくなる。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	毎年発行に向けて経費の課題がある。ただ、このガイドブックは、経費節減の工夫の余地はある。今後、子育て家庭に向けた商品を扱う広告掲載 子育て支援に取り組んでいる企業と合同発刊などについて検討する。	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度	子育て支援課
事業名	子育てに関する情報の充実	
計画体系	1-(1)- 子育てに関する総合相談支援体制の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子育てに関する情報収集や情報提供について、関係機関と連携を図りながら、総合的に把握し、子育てカレンダーや情報機器を活用した情報提供等を進めます。	
子育てカレンダー	乳幼児健診や市をはじめ各種子育て支援団体の活動日や行事など、月間のスケジュールをカレンダー化したもの。子育て支援センターで取りまとめて発行しているほか、子育てネットマガジンにも掲載している。	
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	H18から子育てネット会議の本格始動に伴い、子育てネットマガジン(月刊)を創設のうえ、子育てカレンダーも合わせて掲載。 市のホームページにおいても「子育て便利帳」のコーナーを開設し毎月最新情報を発信。	
課題はあるのか？ 【所管課の課題認識】	子ども向けのホームページ(キッズページ)について設置すべきとの意見もあり、子どもがアクセスしやすくなる情報の選択、あるいは記述方法など今後の課題として考えられる。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	引き続き取り進め、内容の充実を図るほか、子ども向けホームページについても検討を進める。	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度(新規)	こども相談センター
事業名	心のケア事業の実施	
計画体系	1-(1)- 地域子育て支援センター事業の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子育て中の親等の育児不安等を軽減するため、関係機関と連携し、支援センターの増設、心の相談・助言事業を行います。	
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	子育て支援グループ講座プログラム 子育て支援センターとこども相談センターの共催により、臨床心理士がファシリテーターとなり、育児不安を抱える母親達が意見交流のグループワークを行う。託児はボランティア(ひまわり) 全8回を予定	
ファシリテーター	参加者の心の動きや状況を見ながら、実際にプログラムを進行して行く人のことをファシリテーター(促進者)と呼ぶ。ファシリテーターの媒介によって、参加者の本来的な学びが促進され、体験したことを次のステップへと、結びつけることが容易になる。	
課題はあるのか？ 【所管課の課題認識】	潜在的な対象者を参加に導くためには、関係機関の理解と協力が必要であり、現状ではそこまでは至っていない。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	虐待や体罰の未然防止のための心理的プログラムとして確立させたい。18年度は試験的に実施を試み、利用者のニーズや内容などを検討し、数年かけてPRを行い、実績を重ねながら、潜在的な参加者の掘り起こしを行っていききたい。	

次世代計画年次別事業カード(H18年度)

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度(新規)	こども家庭課
事業名	産後支援ヘルパー派遣事業	
計画体系	1-(2)- 育児支援家庭訪問事業の実施	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	産後の体調不良等で家事や育児が困難な核家族家庭等にヘルパー等を派遣し、母子の身の回りの世話・育児を支援します。	
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	H19年度実施に向けて検討を行った。	
課題はあるのか？ 【所管課の課題認識】	利用の需要を把握する必要がある。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	H19年度より実施予定。	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度(新規)	こども家庭課
事業名	乳幼児健康支援一時預かり事業(派遣型一時保育)	
計画体系	1-(2)- 乳幼児健康支援一時預かり事業の拡充	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	保護者の傷病・入院等により緊急・一時的に保育が必要な乳幼児・児童の自宅に、ヘルパー等を派遣し保育を補助します。	
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	未実施	
課題はあるのか？ 【所管課の課題認識】	実施場所は対象児童の自宅となるため、ヘルパー等の自宅受け入れに対する抵抗感があると思われる。 また、利用する際の手続きの簡素化を検討する必要がある。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	この事業を実施して以降、利用が少ないことから、その要因を探るため、アンケート調査を実施する。	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度(新規)	子育て支援課
事業名	子育てスタッフ(2~3名一組)による電話・訪問支援	
計画体系	1-(2)- 子育てスタッフ事業	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	在宅の子育てで家庭の様々な負担感を軽減するため、保健・福祉関係と連携し、電話相談や家庭訪問などを行い支援します。	
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	未実施	
課題はあるのか？ 【所管課の課題認識】	ボランティアの育成については、地域福祉と同様、なかなか進まないのが実情である。まして資格専門職となれば、無償での制度化が難しい状況にある。個別にスタッフを育成するか、育成・派遣も委託する方法も含め、持続性・効果・かつ費用も含め、再度検討する必要があると考える。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	どのように取り組むか模索段階。このことから、総合支援会議乳幼児部会で具体的にに向けた議論や意見を踏まえ取り進める。有償制度とするならば、国のファミリーサポートセンター事業などの制度の活用も選択肢と考える。	
ファミリーサポートセンター事業	子育て支援策で国が重点化している特定14事業メニューの一つ。子育ての援助をして欲しい人(利用会員)と子育ての援助をしたい人(援助会員)が会員となり、お互いに助け合いながら活動する会員組織。運営は国の交付金のほか会員の会費で賄われており、利用会員は援助会員に一定の謝金を支払う仕組み。	

次世代計画年次別事業カード(H18年度)

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度(新規)	こども家庭課
事業名	認可保育所の整備事業	
計画体系	1-(4)- 多様化する保育ニーズの体制整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	待機児童及び超過入所を解消し、子どものよりよい保育環境にむけ、認可保育所を整備します。	
認可保育所	児童福祉法に基づく児童福祉施設。施設の広さ、保育士の数、給食設備などの一定基準をクリアして認可された保育所。保護者が仕事や病気などの理由で、0歳から小学校就学前の子どもの保育ができない場合に、子どもを預かって保育する。地方自治体が運営している保育所(公営)と、社会福祉法人などが運営する保育所(私立)があり、認可保育所は公費により運営されている。	
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	待機児童の解消に向け、新設の保育所の整備について、それを予定している法人と協議を行った。	
課題はあるのか? 【所管課の課題認識】	新設の保育所においては、通常の保育事業のほか、特別保育事業の実施を検討する必要がある。	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	待機児童解消のための新設保育所の整備について、それを予定する法人と引き続き協議を進める。併せて開設後の特別保育事業の実施についても協議を進める。	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度	こども家庭課
事業名	延長保育事業の見直し(開所時間等)	
計画体系	1-(4)- 多様化する保育ニーズの体制整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	多様な保育ニーズに対応するため、延長保育の時間帯を見直します。	
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	未実施	
課題はあるのか? 【所管課の課題認識】	見直し時間帯による職員体制等	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	延長する時間帯を把握するため、調査・検討を行う。	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度(新規)	こども家庭課、子育て支援課
事業名	幼稚園・保育所との多機能化に向けての検討	
計画体系	1-(4)- 幼保一体化の研究	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	幼稚園と保育所の多機能化や役割分担等を研究します。	
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	H18は、市の総合計画策定に合わせ、市立保育園(へき地含む)の再編について検討する予定であり、総合施設「認定子ども園」についても検討を行う予定。	
認定子ども園	今年度国が創設した幼保総合施設の新制度。しかし、試行的傾向が強く、今後実態を踏まえ制度改正が重なることも想定されるので、その動向に注視する必要がある。	
課題はあるのか? 【所管課の課題認識】	全国的に都市部と郡部では幼保総合施設の必要性の意味が異なる。都市部では、定員超過の保育所に対し、定員に満たず施設的に余裕のある幼稚園に保育所機能を持った幼保施設にすることで待機児童の解消を図るものであり、郡部では、児童の絶対数が少ないながら多様化している保育ニーズに対応するため、効率的な幼保総合施設を設けるものが一般的である。	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	厚田区・浜益区内のへき地保育園などは認定子ども園化によりメリットが生ずる可能性もある。今後、石狩市の実情も踏まえ、制度の活用方策を検討したい。	

次世代計画年次別事業カード(H18年度)

計画での予定年次 / 担当課		平成18年度	児童館
事業名	児童館等の充実		
計画体系	1 - (5) - 子育てを支援する就労づくり		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	児童が安全に過ごせる放課後や居場所づくりのために、児童館やミニ児童館を充実します。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	児童館運営事業 ・児童館4館 ミニ児童館4館(1館休館) 放課児童健全育成事業 ・放課後児童会 10か所開設運営		
課題はあるのか？ 【所管課の課題認識】	児童館運営事業 ・花川児童館の移設(子ども発達支援センターが手狭の状態) ・児童館の老朽化による改修 ・放課後児童会の待機児童解消のため、ミニ児童館1館を休止している。 放課後児童会健全育成事業 ・放課後児童会の拡充(入会過密及び待機児童発生地域の解消対策) ・放課後児童会の有料化 ・サービス充実の検討		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	上記課題について検証し、市民ニーズ・財政状況等を考慮しながら、事業の展開を図る。		

計画での予定年次 / 担当課		平成18年度	こども家庭課
事業名	特別保育事業の充実		
計画体系	1 - (5) - 子育てを支援する就労づくり		
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	共働き世帯の就労形態の多種多様化に対し、柔軟に対応できるよう特別保育事業を充実します。		
特別保育事業	延長保育、乳児保育、障がい児保育など就労形態の多種多様化に対応するための子育て支援事業と育児相談や就労状況に関わらず利用できる一時保育所、地域子育て支援センター等場所の支援。		
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	認可保育所・一時保育所の理解と協力を得て、それぞれの事業を実施した。		
課題はあるのか？ 【所管課の課題認識】	障がい児保育・一時保育・地域子育てセンター事業については、保護者のニーズが高いことから、事業の拡大が必要である。		
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	障がい児保育・一時保育・地域子育てセンター事業について、事業の拡大を検討する。		

次世代計画年次別事業カード(H18年度)

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度	児童館、図書館
事業名	親子のふれあいの場の創出	
計画体系	2 - (1) - 豊かな心と健やかな体を育む教育環境の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子育て家庭が気軽に利用できる自由な交流の場として、絵本の読み聞かせや親子食事セミナー等を企画します。	
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	<p>児童館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こころ広場、幼児開放事業において、絵本の貸出し・読み聞かせ・人形劇等をとおして、創造性を豊かにし親子のきずなを深める。 <p>図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あかちゃんと絵本のへや」(月1回) ・本館おはなし会(毎月第1・3・5土曜/第2・4日曜、その他不定期で開催) ・花川南分館おはなし会(毎月第2土曜) ・八幡分館(毎月第4土曜) ・学校等でのおはなし会(不定期) ・ブックスタートフォローアップボランティア講座(年2回予定) ・図書館まつり(11月3・4・5日開催) 	
課題はあるのか? 【所管課の課題認識】	<p>児童館</p> <p>こころ広場、幼児開放事業は、実施放課後児童会等が使用していない空き時間帯の利用となるため、平日の午後及び夏休み・冬休みなどの長期学校休業期間は事業実施ができない。特に、長期休校期間の事業展開が課題となっている。</p> <p>図書館</p> <p>読み聞かせを行なうことのできる人材の育成</p>	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	<p>児童館</p> <p>事業も広く認知されていると想定されることから、今後も課題等を検証しながら事業展開する。</p> <p>図書館</p> <p>読み聞かせを行なうことのできる人材を育成し、市民や関連部署との連携を図りながら、おはなし会の開催会場及び回数を増やしていく。</p>	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度	健康づくり課
事業名	健診事後指導の充実	
計画体系	3 - (3) - 健康診査及び事後支援体制の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	健診の結果、支援が必要な乳幼児に相談指導を行います。さらに福祉関係者などと連携して指導体制を充実します。	
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	関係機関との連携による指導体制の充実を図る。双子の母親を対象に、地域子育て支援センターとタイアップして交流会を開催(H18.7月から4回)したり、若い母親(15～19歳)を対象に、交流会を開催(H18.6月末から3回)する。	
課題はあるのか? 【所管課の課題認識】	虐待の早期発見スクリーニングに取り組んだ結果、事後支援が必要な対象が増え、業務量が増大している。	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	支援が必要な対象には、関係する複数機関が連携して支援する。	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度(新規)	こども相談センター
事業名	心の相談支援コーナーの設置(子ども保健室)	
計画体系	3 - (5) - 思春期の子ども心の健康	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	児童生徒が悩みや不安等を気軽に話せ、和らげることができるようメール相談等の窓口を整備します。	
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	まず始として、小学生を対象に、家庭児童相談員が児童館等を訪問し、児童が困った時どこへ相談したらいいかなどを教材を通して周知する。	
課題はあるのか? 【所管課の課題認識】	スクールカウンセラーや心の相談員との業務の住み分けの問題がある。	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	子どもが悩んだり、思いを伝えるための手段や方法を学ぶ機会について、情報を発信したり、授業の中に組み込んでいくことなどについて検討していきたい。	

次世代計画年次別事業カード(H18年度)

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度(新規)	商工労働観光課、こども相談センター
事業名	母子家庭の就労づくり	
計画体系	5 - (2) - ひとり親家庭日常生活支援	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	母子家庭の母の就業を促進するため、事業所等に協力の要請や就業情報の提供等を行います。	
今年度の取り組み内容 【H18年度の取り組み状況】	<p>こども相談センター こども相談センターに就労相談に来たひとり親家庭の親に対し、いしかり雇用サポートセンターやマザーズハローワークの紹介・斡旋を行っている。</p> <p>商工労働観光課 内職に関する問い合わせが多いが、市として照会や斡旋を行うことはできないので、安全な情報提供機関を紹介し、詐欺的な情報に騙されないようアドバイスしている。</p>	
マザーズハローワーク	子育て女性の就職支援として、仕事と育児を両立しやすい条件の求人を主に紹介するほか、ベビールームなどを完備し、H18年度からハローワーク札幌(中央区北4西5)に設置された。	
課題はあるのか？ 【所管課の課題認識】	<p>こども相談センター マザーズハローワークの所在が都心であるため、利用のしにくさがある(市内で、同様の情報が得られる形態が好ましい)。</p> <p>商工労働観光課 幼い子を持つ親の就業は条件的に非常に厳しいため、事業者側の就業条件の整備と合わせ、福祉所管が行う日常生活のトータル的な支援と連携し、一般的な就業条件への対応が図られるとよい。</p>	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	<p>こども相談センター 各種サービスの内容等を把握し、母子家庭等のニーズにマッチした適切な情報提供を行っていきたい。</p> <p>商工労働観光課 福祉支援と連携し、今後も就業条件の整備について事業者への要請を行っていく。</p>	